

中花たちばな

『夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子』

豊岡市立豊岡南中学校
学校だより
令和7年3月24日

ご卒業、修了おめでとうございます



3月14日(金)、第78期生179名が豊岡南中学校を巣立っていきました。卒業式では、在校生を代表して2年生の〇〇〇〇さんが感謝の思いを込めて立派に送辞を述べました。卒業生からは、〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんのピアノ伴奏が流れる中、〇〇〇〇さんが3年間の思い出と仲間や家族への思いの詰まった答辞を述べ、会場は感動の涙であふれました。最後は卒業生全員による合唱です。〇〇〇〇さんの指揮と〇〇〇〇さんの伴奏で、RADWIMPSの「正解」を見事に歌い上げ、感動の余韻が残る中、旅立っていきました。以下、卒業生に送った式辞を一部抜粋して紹介させていただきます。

～(前略)～ そんな皆さんは今、新たな進路を自分で選び、新たな一歩を踏み出そうとしています。日本は少子高齢化による人口減少、景気の後退と物価の高騰、不安定な世界情勢への対応など、様々な課題を抱えています。思わず暗い気持ちになりそうですが、逆の発想もできます。団塊の世代は一学年で200万人以上いました。でも、皆さんの学年は約100万人と半減しています。明らかに今の社会制度を維持することは困難です。一方、労働力が全く足りなくなります。そのため、チャンスしかない、とも考えられるのです。また、今の会社の組織や働き方では対応できなくなります。では、次の世代はどうすればよいのか？単純です。歴史が証明しています。進化論を唱えたダーウインが言うように「強い者が生き残るのではなく、変化できる者が生き残る」のです。そのためには「変化を恐れず、チャレンジし続けること」「学び続けること」が大事です。

先行きが不透明で将来の予測が困難な現代、何が正解かは、誰にもわかりません。今日この後、皆さんが歌うRADWIMPSの「正解」には、「答えがある問いばかりを教わってきた」「知りたかったのはいつも正解などまだ銀可にもない」「答えがすでにある問いなんかには用などはない」という歌詞があります。まさにこれからの時代に求められる最適解の考え方です。最適解は、一人では到底答えが見つからないむずかしい問いへの答えです。多様な人々と協働することが欠かせません。そのためには、相手を尊重すること、共感力や信頼感、思いやりや感謝の気持ちが必要です。また、自分の考えを持ち、表現することも重要です。難しいことに挑戦しようとする気持ちも大切です。皆さんはこの南中で過ごした三年間、多くのことを学んできました。各教科で正解のある問題に取り組んで、答えを出す学習もたくさんしました。しかし、それだけではありません。教科で学んだ知識や技能を活用して、横断的な発想で各自の課題を探究する南中クエスト。数々の学校行事や生徒会活動、部活動に主体的に取り組む、達成感や感動を追求したこと。更に、対立した人間関係を悩みながら修復したり、様々な問題に、仲間と知恵を絞り、絆を深めてきたはず。そんな全てが大切な学びとなり、皆さんはすでに、この三年間で最適解を探し出す力をたくさん身につけてきているのです。

「正解」の歌のラストは、「明日からは僕だけの正解をいざ探しにゆくんだ」「採点基準はあなたのこれからの人生」と続いています。皆さんのこれからの人生は、自分だけの正解を探し続ける旅です。ぜひ、変化を恐れず、チャレンジし続け、学び続けることで、自分の未来を自分の手で創り出していくこと自体を楽しんでください。自分の良さを生かせる道、自分が自分らしくいられる道を、自信を持って進んでください。いつの日か、皆さん一人ひとりが自分なりの答えを探し出し、人生を笑顔で楽しんでいる姿に出会えることを楽しみにしています。名残はつきませんが、巣立ちゆく皆さんの未来に幸多かれと願ひ、私からの最後の式辞といたします。

令和7年3月14日 豊岡市立豊岡南中学校長 〇〇〇〇

卒業生代表 答辞 ○○ ○○○さん(一部抜粋)

～(前略)～ 私たちが小学4年生の冬。突然のマスク生活が始まった。中学校に入学した頃にはマスク姿が私たちの当たり前だった。だから3年前の春、私たちはマスク姿で入学式の花道を歩いた。それが日常だった。初めて教室に足を踏み入れた時のことは、鮮明に覚えている。新たな顔ぶれ、友達ができるかどうか不安だった。それでも、校外学習で、神鍋山に登りながらみんなで歌を歌いあつた頃には、少しずつ心が打ち解けていった。学校生活では、初めてのことがばかりで、戸惑うことも多く、先生にもたくさん迷惑をかけた。まだまだ私たちは子どもだった。



2年生。5月には新型コロナウイルスは2類から5類へと移った。私たちは「自由」になった。でも私たちの顔からマスクが消えることはなかった。みんな素顔を見せることに抵抗があった。「マスクを外そう」と呼びかけあい、協力してくれる人が日に日に増えていった。そして、仲間の本当の笑顔を見ることができるようになった。2年生で心に残っていることは、やはりトライやるウィーク。初めて触れた働く世界。仕事を教えてくれた方の笑顔に安心し、こんな大人になりたいと思った。冬、3年生を間近に控えても私たちはまだまだ勉強に身が入らなかった。クラスを変えようと、仲間と悩み考えたのもこのころだ。

3年生。一番の思い出は修学旅行だ。先生に頼らず私たちだけで創る修学旅行をめざした。そして私たちには「自由」が与えられた。自分たちで考え、動くことが求められた。旅の3日間、本当に先生たちは私たちに何も言わなかった。私たちは先生たちに信頼されている。そのことが嬉しかった。と同時に、「自由」には「責任」がついて回るということを知った。私たちの学年が大きく成長をした3日間だった。

～(中略)～ 生徒会スローガンの「TSUNAGU」。私たちは様々な行事を通して、絆を繋ぎ、支え合った。この冬、それは受験勉強にも生かされた。仲間とともに受験に挑み、自ら学び、また、仲間と学び合う姿が教室にあふれた。私たちは、ついに「共に前へ!」という言葉にふさわしい中学生になった。

仲間と共に、歩んできた3年間。この3年間を振り返り、私は改めて周りの人に支えられてきたことを実感している。在校生の皆さん、部活、委員会、行事といろんな場面で支えてくれてありがとう。今日からは皆さんがこの学校の中心です。これまで続いてきた伝統を引き継ぎ、さらに良い学校を作っていくてください。みなさんと一緒に踊った全校ダンスを私は忘れません。

～(中略)～ 最後に、3年生のみんな。3年間、共に歩んできてくれてありがとう。大変なこともあった3年間だったけれど、学校に行け

ば、みんながいて、うれしくて、休み時間が待ち遠しくて。みんなと楽しい毎日を過ごすことができました。みんなとの3年間は、私の宝物です。出会ってくれて、ありがとう。

「命を大切に」3年間言われ続けた言葉。この先の未来にどんな正解があるかわからない。与えられた命を輝かせ、179人の仲間と共に、私たちだけの正解をいざ探して行こう。また会う日まで。「よーい、はじめ」

令和7年3月14日 卒業生代表 ○○ ○○○



○同窓会から表彰を受けました(敬称略)

【陸上競技】 兵庫県中学校陸上競技新人大会 800m, 1500m 優勝 2年3組 ○○ ○○

【美術】 第84回全国教育美術展 特選 1年3組 ○○ ○○ 2年1組 ○○ ○○ 3年2組 ○○ ○○

第76回兵庫県幼・小・中造形教育展 特選 3年3組 ○○ ○○

第76回兵庫県幼・小・中造形教育展 サクラクレパス賞 3年4組 ○○ ○○○

【理科】 第68回日本学生科学賞兵庫県コンクール 兵庫県知事賞 2年3組 ○○ ○○

【吹奏楽】 第52回兵庫県アンサンブルコンテスト打楽器三重奏 金賞

2年2組 ○○ ○○○ 2年4組 ○ ○○ 2年5組 ○○ ○○



【豊岡市「健康ポイント制度」について】

今年度は86名の市民から、運動健康ポイントによる寄付金 30,728円をいただきました。寄付金で教材を購入し、生徒たちのために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



ダウンロードはこちらからどうぞ →



【感謝とお礼】 無事に卒業、修了の年度末を迎えることができました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。子どもたちの健やかな成長のために、今後も精一杯、生徒たちと向き合っています。来年度もどうぞよろしく申し上げます。(豊岡南中学校 職員一同)